



保元物語



正印

寶珠文庫



きよはるりのそとせう平じやうあめさかあまこころんせ
 よりのさぶらぶる女ん乃事とゆきくいさきいせのやりりる
 ころゆきつたにじろくけりあまらういゆやとりさういさ
 かなしけしゆくのあつ結とさりくをまくるあまのあま
 正をけりまふのあま格さゆきくいささゆきあめさか
 ありうとんしはんしやうしうあひあくひは伯父舟母
 かのめとくいさかゆきんそんいさまきんあまれたりゆき
 あまのゆきさかあまあまあまあまあまあまあまあま
 事あまのく乃よきあまあまあまあまあまあまあまあま
 る物あまきりあまあまあまあまあまあまあまあまあま
 てうあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあま

多し人を知るは世にありて我とていふを
世人とていふは世にありて我とていふを
中をわくは世にありて我とていふを
けいこも世にありて我とていふを
うらやまも世にありて我とていふを
たしなも世にありて我とていふを
よきも世にありて我とていふを
あつちも世にありて我とていふを
まはらも世にありて我とていふを
ふりも世にありて我とていふを
のほりも世にありて我とていふを

くかひくは世にありて我とていふを
て我とていふは世にありて我とていふを
なまも世にありて我とていふを
まはらも世にありて我とていふを
たしなも世にありて我とていふを
よきも世にありて我とていふを
あつちも世にありて我とていふを
まはらも世にありて我とていふを
ふりも世にありて我とていふを
のほりも世にありて我とていふを

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the right page of an open book. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the left page of an open book. The text is dense and fills most of the page.

中一りいんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
ちりていんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
あつちからさうじうつりていんてんの中をまわすことゝ
人ありていんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
とていんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
くいにせうじうつりていんてんの中をまわすことゝ
けいせいのあつちからさうじうつりていんてんの中をまわすことゝ
とていんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
やれいんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
はいんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
あつちからさうじうつりていんてんの中をまわすことゝ
あつちからさうじうつりていんてんの中をまわすことゝ

中一りいんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
ちりていんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
あつちからさうじうつりていんてんの中をまわすことゝ
人ありていんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
とていんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
くいにせうじうつりていんてんの中をまわすことゝ
けいせいのあつちからさうじうつりていんてんの中をまわすことゝ
とていんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
やれいんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
はいんてんの中をまわすことゝすゝめ人となりしるす
あつちからさうじうつりていんてんの中をまわすことゝ
あつちからさうじうつりていんてんの中をまわすことゝ

わが身はくまのよもあがり 征國一見ぬひりて感さる
り左儀の母くいさうにんすい一葉のうらみはあつりさ
それらうれあふらうらうらうらうらうらうらうらうら
を思ふ新院乃の事にはいさうきさうきさうきさうき
さうきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさうき
まうきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさうき
物とあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふ
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
しきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさ
いさうきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさ
いさうきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさ

あきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさうき
さうきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさうき
物とあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふ
白くさうきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさ
らうきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさうき
さうきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさうき
きさうきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさ

幽思不窮深更無又慶愁腸欲断窓有月
さうきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさ
つきさうきさうきさうきさうきさうきさうきさうき
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふ

あ方より後わきまのせしきよらんらんらんらん
城と我場せいちやうと一きうとよらんとあういふ事せん
あれま後より志のまを智将とあくらうとせん
あきらめりく。いふことけいあうとらうをせん
王臣のあうと合とせんいふき乃義兵也

保元物語 卜



